

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	開設後スタッフ全体で検討した運営方針だが、実際にご入居者への支援に繋がっているのか、という点について課題が残る。 運営方針の決定ということだけで完結するのではなく、具体的にどう取り組んでいくのかをスタッフ全体で共有し、実践に結び付けていけるようにしなければならない。	スタッフ全体で運営方針を再確認し、共有する。 ご入居者がどのような生活を望んでいるかというニーズを再度確認し、運営方針に基づいた支援(その人らしい生活)を実践していく。	スタッフミーティングにおいて、再度運営方針を確認し、スタッフ全体で共有する。 常にスタッフが運営方針を確認できるような新たな工夫(掲示方法の検討等)をする。 本人、ご家族、スタッフから今、本人がどのような生活を望んでいるか、という事を確認し「その人らしい生活」という事を1人ずつ文章化しケアプランに反映させて実践していく。	10ヶ月
2	13	開設1年を迎え、ご入居者への支援について統一が図れていない部分がある。 支援方法の統一化、そしてスタッフ個々のスキルアップを目指した研修システムの構築が必要。 また、新任スタッフ、現任スタッフ共に研修システムの構築が必要。	「個別研修ファイル」を利用し、支援方法の統一化を図る。 現任・新任スタッフそれぞれの研修システムの構築 勉強会・研修の内容を充実させ、スタッフ個々のスキルアップに繋げる。	全スタッフの「個別研修ファイル」作成し、配布。 今まで研修を受けた事項を各自チェックする。 不足している事項があれば再度OJTを実施し、支援方法の統一を図る。 主に管理者、研修担当者が中心となり、個々の「個別研修ファイル」を把握し、1カ月後、3ヶ月後の状況をチェックする。 「個別研修ファイル」内に各自参加した研修(外部研修含む)・勉強会等の記録を残し、個々のスキルアップに繋げる。	6ヶ月
3	49	ユニット全体での外出については以前に比べ、機会は増えてきているが、個別外出については仕組みが出来ていない。	ご入居者が日々の生活の中で楽しみを見出せるよう、個別外出に関わる仕組み作り、ご入居者自身が行きたい場所へ外出できるようにしていきたい。	個別外出に関する仕組みをつくる。 (費用・人員配置・エリア・頻度等の検討) ご入居者自身が行きたい所を聞き取りして、要望に応えた楽しみのある外出対応していく。	12ヶ月
4					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。